

<総合型選抜Ⅰ期〔A日程〕>

以下の問題の解答を、鉛筆と色鉛筆を用いて画用紙にフリーハンドで描きなさい。

【問題】

一辺が10cmの白い正方形の紙がある。この紙が四等分になるように折られて、軽く広げて白い平面に置かれている。これに紅葉しかけた一枚の葉と色鉛筆を重ねて置いた状態を想像して描きなさい。

なお、四等分の折り方や広げ具合、葉の種類、色鉛筆の本数や長さ、重なり具合などは、自由に設定してよいものとする。

【解説】

まず、10cmの正方形の紙と紅葉の一枚の大きさの比率を考えます。次に、紙を指示どおりに折った状態をイメージして、紙と色鉛筆をどのように重ねて置くと、絵としてのバランスが良いかを考えます。

鉛筆の本数と長さは自由に設定して良いので、本数や長さを変えて配置したところを、幾つかイメージすると更に良くなるでしょう。

白い平面と白い紙の違いを明確にするためには、鉛筆のタッチを変えたり、方向を変えたりすることでテクスチャーの違いも表現できます。光がどの方向から来ているのかをしっかりと設定して、陰影の付け方を工夫する必要があります。

